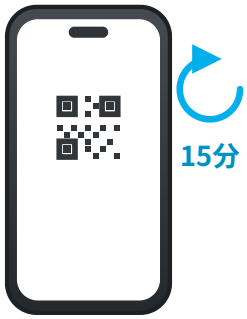
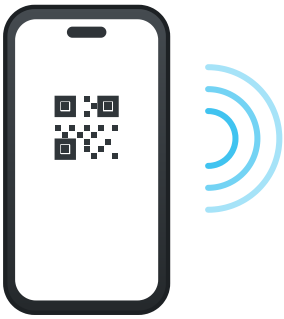
オフラインQR



- ロックごとに別
- ネット不要
- アプリに表示

ユーザーQR



- 全ロック共通
- 常時接続が必要
- 印刷・送信も可

オフライン暗証番号

ベータ



10 桁

- API で発行
- ネット不要
- 発行後は消せない

APP SETUP GUIDE

カギを配る（アプリ・ロッカー・予約）

利用者に QR1 のカギを渡す方法をまとめます。KEYVOX Basic に出すオフライン QR とユーザーQR、API で発行するオフライン暗証番号（ベータ）の違いと、ロッカーと同じ QR で開ける設定、予約したゲストに Wi-Fi 解錠を許す設定を説明します。

MODELS
BCL-QR1 LE / KEYVOX Locker

DOCUMENT NO.
KV-A08

REVISED
2026年10月29日

WEB MANUAL

ABOUT THIS GUIDE

このマニュアルについて

利用者に QR1 のカギを渡す方法をまとめます。KEYVOX Basic に出すオフラインQR とユーザーQR、API で発行するオフライン暗証番号（ベータ）の違いと、ロッカーと同じ QR で開ける設定、予約したゲストに Wi-Fi 解錠を許す設定を説明します。

アプリ設定　QR1 LE　スマートロッカー

目安時間

約15分

用意するもの

- パソコン（WEB 管理画面 BACS）
- スマートフォン

始める前に

- QR1 の登録・ペアリングが済んでいること
- WEB 管理画面（BACS）にログインできること
- QR1 のファームウェアと、利用者の KEYVOX Basic が最新になっていること

目次

—	ご使用上の注意	4
01	カギの種類を選ぶ	5
02	アプリにオフラインQR を出す	6
03	アプリにユーザーQR を出す	7
04	ロックとロッカーを同じ QR で開ける	8
05	予約したゲストに Wi-Fi 解錠を許す	9
06	（ベータ）オフライン暗証番号を API で発行する	10
付録	よくある質問	12

記号の見方

注意 必ず守ること

守らないと、故障・やり直し・思わぬ動作につながることがあります。

補足 知っておくと役立つこと

作業のコツや、状況によって変わる点を説明します。

図の青い部分

作業する人が行う動きと、注目する場所を青で示します。

手順は改良に合わせて更新しています。最新版は表紙の QR コード、または keyvox.co/manuals/keys-and-apps からご覧いただけます。

SAFETY & HANDLING

ご使用上の注意

安全に、長くお使いいただくための注意事項です。取り付けの前に必ずお読みください。

警告
守らないと、火災・感電・けがにつながるおそれがあります。

注意
守らないと、故障や、解錠できなくなる原因になります。

お願い
長く安心してお使いいただくために。

警告 安全のために必ず守ること

- 本体・AC アダプターを分解・改造・修理しないでください。
- 付属の AC アダプターと専用ケーブル以外は使わないでください。指定の電圧以外で使うと、発熱・故障の原因になります。
- 濡れた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。ケーブルを傷つける・無理に曲げる・重いものを載せることも避けてください。
- 煙が出る・異臭がする・異常に熱いときは、すぐに電源（AC アダプター・電池）を外し、サポートへご連絡ください。
- 電気錠・自動ドアの制御盤への配線は、電源を切った状態で、電気工事の知識のある方が行ってください。

注意 非常時の備え

- 電池切れ・停電・通信の不調・故障に備えて、物理鍵などの非常用の解錠手段を必ずご用意ください。物理鍵は室内に置いたままにせず、すぐ取り出せる場所で保管してください。
- 電気錠・自動ドアでは、解錠できなかった場合の解錠方法（非常用の解錠ボタンなど）を、メーカーまたは施工店と相談のうえご用意ください。
- 管理者暗証番号は第三者に知られないように管理し、初期の番号のまま使わないでください。

注意 設置する場所

- 仕様に記載の温度・湿度の範囲で、直射日光が当たらず、結露・氷結しない場所に設置してください。
- BR1・WD1 には防水性能がありません。屋内に設置するか、屋外では防水ボックスに収めてください。
- QR1 LE・BX1 は防水（保護等級5）ですが、水没や高圧洗浄には耐えません。BX1 の防水は扉を閉じた状態に限ります。
- Bluetooth・Wi-Fi は、金属の扉・コンクリートの壁・分電盤などで弱くなります。機器どうしは見通し 2m 以内を目安に設置してください。
- 電子レンジや他の無線機器の近くでは、通信が不安定になることがあります。

注意 電池について

- 新しい単三形アルカリ乾電池を使い、＋と－の向きを確かめて入れてください。
- 新旧の電池、種類やメーカーの違う電池を混ぜて使わないでください。交換するときは全部を同時に替えてください。
- 電池残量の通知が届いたら、早めに交換してください。長期間使わないときは電池を取り出してください。
- 液漏れした電池には素手で触れず、拭き取ってから新しい電池に交換してください。

お願い 日常のお手入れ

- 汚れは、乾いたやわらかい布か、水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭いてください。
- シンナー・ベンジン・アルコールなどの溶剤や、研磨剤は使わないでください。表面や文字が傷みます。
- QR コードの読み取り窓とキーパッドは、汚れや水滴が付いたままにしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

お願い ご利用にあたって

- ファームウェアとアプリは最新の状態でお使いください。動作の安定化や不具合の修正が含まれます。
- 機器を譲渡・廃棄するときは、アカウントから機器を削除し、初期化してください。
- 廃棄するときは、電池を取り外し、お住まいの自治体の区分に従ってください。
- 保証の期間と条件は、製品に同梱の保証書をご確認ください。

STEP 01

1 カギの種類を選ぶ

どれも WEB 管理画面（BACS）で利用者とアクセス権を決めて配ります。インターネットの状態と使い方で選びます。

1.1 3 種類のカギの違い

1. オフラインQR（スマートロックのカギ）：ロックごとに違う QR が利用者のアプリに出て、15分ごとに変わります。QR1 がインターネットにつながっていなくても開けられます。
2. ユーザーQR：利用者ごとに 1 つの QR で、アクセス権のあるロック・ロッカーすべてに使えます。印刷やメールでも渡せますが、QR1 が常時インターネットにつながっている必要があります。
3. オフライン暗証番号（ベータ）：KEYVOX API で発行する 10 桁の番号です。インターネットがなくても使えますが、一度発行すると取り消せません。



1.2 選び方の目安

1. QR1 を電池で動かし、常時インターネットにつながない場合は、オフラインQR を使います。
2. オフィスや会員のように利用者が決まっていて、ロッカーも同じ QR で開けたい場合は、ユーザーQR を使います。
3. 自社のシステムから API で暗証番号を発行したい場合は、オフライン暗証番号を使います。

> **補足** どのロックを開けられるかは、利用者のアプリには表示されません。アクセスの内容は、オーナーから利用者に伝えてください。

STEP 02

2 アプリにオフラインQR を出す

BACS で設定すると、利用者の KEYVOX Basic に解錠用の QR コードが出ます。

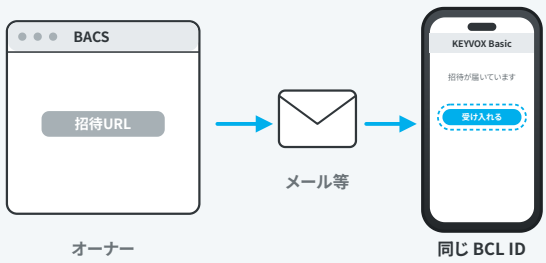
2.1 利用者の「スマートロックのカギ」をオンにする

1. BACS の「設定」>「ユーザー・グループ」で利用者を登録します。
2. ユーザー詳細の「カギ情報」で「スマートロックのカギ」をオンにします。
3. 「KEYVOXのBCL IDとの紐づけ」から、招待URL を利用者に送ります。



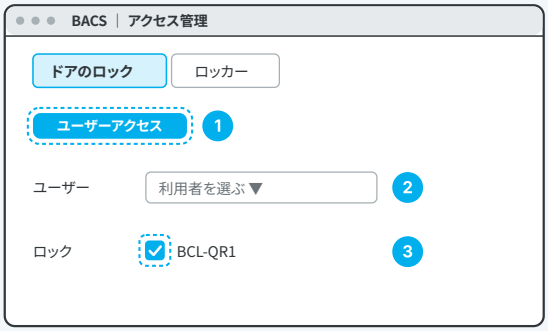
2.2 利用者が招待を受け入れる

1. 利用者は、自分の KEYVOX Basic と同じ BCL ID でログインします。
2. 届いた招待を受け入れます。



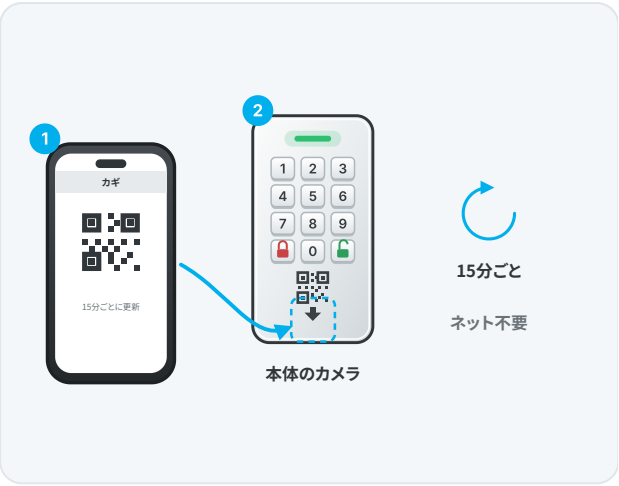
2.3 開けてよい QR1 を割り当てる

1. BACS の「アクセス管理」>「ユーザーアクセス」を開きます。
2. 利用者を選び、開けてよい QR1 にアクセス権を付けます。



2.4 利用者のアプリで開ける

1. 利用者の KEYVOX Basic に、解錠用の QR コードが出ます。
2. QR コードは15分ごとに自動で変わります。
3. QR1 本体のカメラにかざすと、アクセス管理で決めた内容のとおりに解錠します。

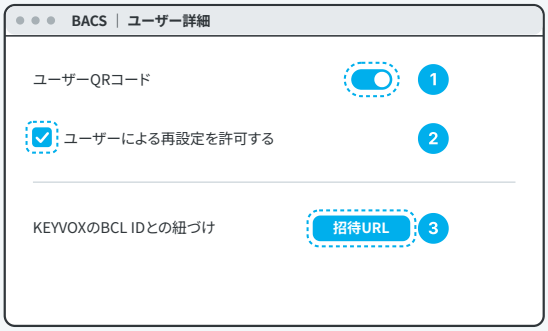


3 STEP 03 アプリにユーザーQR を出す

BACS で利用者ごとに割り当てる QR コードを、利用者の KEYVOX Basic に表示します。

3.1 利用者の「ユーザーQRコード」をオンにする

1. BACS の「設定」>「ユーザー・グループ」で利用者を登録します。
2. ユーザー詳細で「ユーザーQRコード」をオンにします。
3. 利用者に QR を作り直させたい場合は、「ユーザーによる再設定を許可する」にチェックします。
4. 「KEYVOXのBCL IDとの紐づけ」から招待URL を送り、利用者に受け入れてもらいます。



3.2 利用者のアプリで開ける

1. 利用者の KEYVOX Basic に、BACS のユーザー情報と同じ QR コードが出ます。
2. アクセス管理で決めた QR1 やロッカーを、この QR で開けられます。
3. 再設定を許可した場合は、利用者がアプリからいつでも QR を作り直せます。

> ⚠ **注意** ユーザーQR はクラウドで照合するため、QR1 が常時インターネット（Wi-Fi）につながっている必要があります。



---

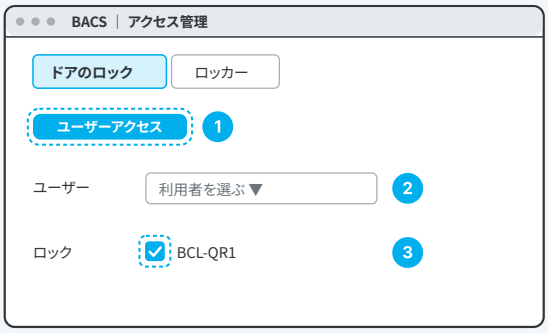
4 STEP 04 ロックとロッカーを同じ QR で開ける

QR1 とスマートロッカーを併せて使う場合、同じ QR コードで両方を開けられます。利用者が決まっているオフィスや会員向けの方法です。

4.1 ドアのロックとロッカーの両方にアクセス権を付ける

1. BACS の「アクセス管理」＞「ドアのロック」で「ユーザーアクセス」を選び、利用者を登録します。
2. 「アクセス管理」＞「ロッカー」でも同じ利用者を登録します。
3. 利用者のユーザー詳細で「ユーザーQRコード」をオンにします。

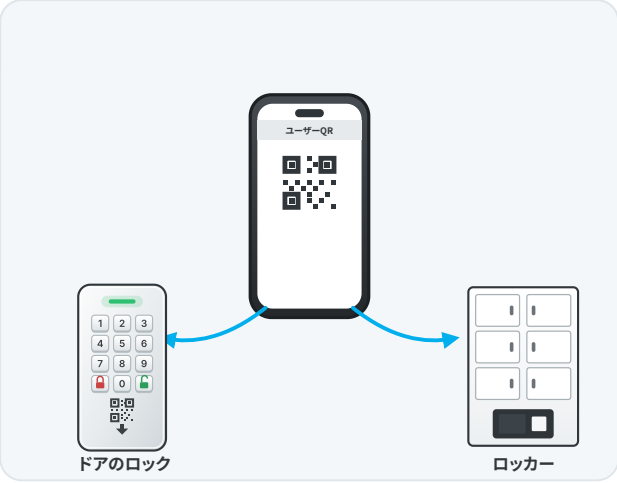
> ℹ **補足** 利用者は先に「設定」＞「ユーザー・グループ」で作っておきます。



4.2 同じ QR で両方を開ける

1. 利用者のユーザーQR で、QR1 のドアとロッカーの両方を開けられます。
2. ユーザー詳細の「オリジナルQRコード」に好きな文字列を登録して、それをカギにすることもできます。

> **補足** オリジナルQRコードで QR1 を開けるには、QR1 側の設定も必要です（**動作のカスタマイズ（高度な設定）と活用例**を参照）。ロッカーのアプリと QR1 のファームウェアは最新にしておきます。



4.3 同じ暗証番号で開けたいとき

1. ユーザーアクセスは暗証番号には対応していません。
2. QR1 は「アクセス管理」＞「ゲストアクセス」で、6 桁の番号を指定して暗証番号（オンライン暗証番号）を発行します。
3. ロッカーは「ロッカー管理」から、同じ番号を指定して利用登録します。

> **注意** ゲストがロッカーでボックスの返却をすると、ボックスは返却扱いになり、オーナー側で設定し直す必要があります。

STEP 05

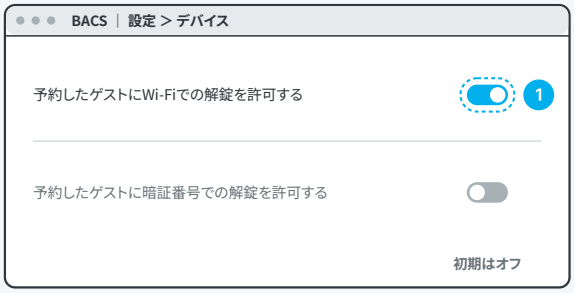
5 予約したゲストに Wi-Fi 解錠を許す

予約サービス「BOOKINGX」「KEYVOX Go」のゲスト画面に、インターネット経由で QR1 を開ける「Wi-Fi解錠」ボタンを出せます。

5.1 BACS で Wi-Fi 解錠を許可する

1. BACS の「設定」＞「デバイス」で、対象の QR1 を開きます。
2. 「予約したゲストにWi-Fiでの解錠を許可する」をオンにします。

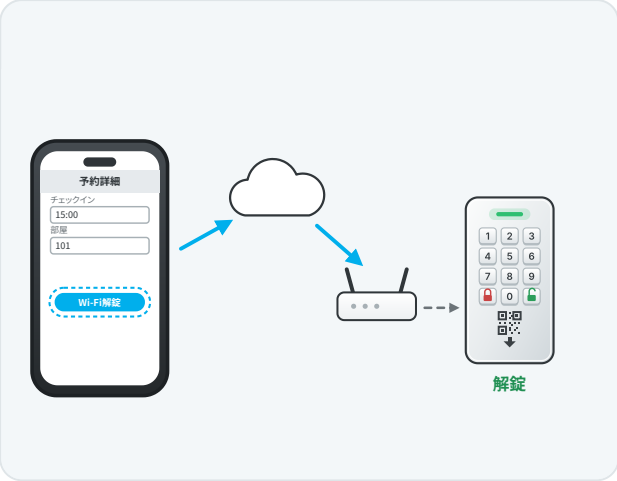
> **注意** 初期状態はオフです。離れた場所から開けられるようになるので、予約サービスの使い方に合わせて許可するかを決めてください。



5.2 ゲストの画面にボタンが出る

1. 許可すると、予約したゲストの画面に「Wi-Fi解錠」ボタンが出ます。
2. ゲストがボタンを押すと、インターネット経由で QR1 が解錠します。

> **補足** Wi-Fi 解錠が使えるのは、QR1 をインターネットと常時接続に設定し、問題なくつながっているときだけです。



STEP 06

6 （ベータ）オフライン暗証番号を API で発行する

QR1 LE が時計と暗号化キーから番号を計算して照合する暗証番号です。番号を本体に送らないので、インターネットがなくても使えます。開発中のファームウェアが必要なベータ版の機能です。

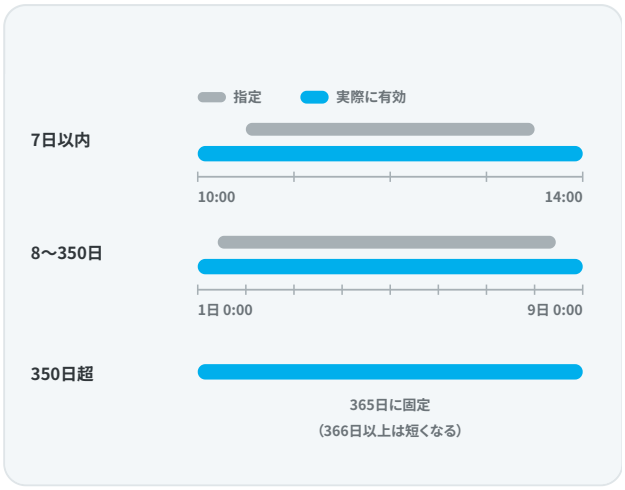
6.1 使えるところ

1. KEYVOX API の「createLockPin」「issueLockKey」で発行します。BACS の画面・予約・チェックインには、まだ対応していません。
2. 「createLockPin」と「issueLockKey」（keyType=0）は、BACS のデバイス詳細で「暗証番号の方式」を「オフライン」にした QR1 LE が対象です。「issueLockKey」（keyType=1）は方式によらず対象です。
3. 番号は 10 桁で、サーバーが決めます。「pinCode」で番号を指定しても無視されます。
4. 「issueLockKey」でメール通知を選ぶと、メールに 10 桁の番号と QR コードが載ります。

> **補足** 対応ファームウェアに更新していない QR1 には、オフライン暗証番号は発行されません（API の応答・メールに番号が載りません）。

6.2 有効期間は丸められる

1. 7日以内：1時間単位です。開始はその時間の0分に切り下げ、終了は次の正時に切り上げます（例：10:30〜13:30 → 10:00〜14:00）。
2. 8日〜350日：1日単位です。開始はその日の0:00、終了は終了日の翌日0:00になります（例：1日10:00〜8日10:30 → 1日0:00〜9日0:00）。
3. 350日を超える：365日に固定です。366日以上を指定すると、指定より短い365日になります。
4. 時刻はすべて日本時間です。実際の有効期間は指定より長くなるので、その幅を見込んで指定します。



6.3 発行した番号は取り消せない

1. 画面や API で削除しても、番号は失効しません。有効期間のあいだは、その番号で解錠できます。
2. 誤って発行した番号も取り消せません。有効期間は必要以上に長くしないでください。

> ⚠ **注意** 取り消せないカギです。長い期間の番号を渡す前に、本当に必要な期間かを確かめてください。

6.4 履歴と時計についての注意

1. 丸めた結果が同じ期間なら同じ番号になるため、番号から誰に渡したものかは分かりません。
2. 同じ番号を複数発行した場合、解錠の履歴に出る名前はそのうち 1 件だけで、実際に開けた人とは限りません。
3. 期間外の番号と間違った番号は区別されず、どちらも認証エラーになります。
4. 判定は QR1 の時計で行います。インターネットにつながない運用でも、半年に1回程度は時計を合わせてください。

6.5 複数台・乗り換えのとき

1. 暗号化キーを複数台でそろえると、同じ番号で複数の QR1 LE を開けられます（どれか 1 台だけを開けることはできません）。
2. 1 つのドアに QR1 LE を含む複数台を紐づけていると使えません。そのドアには QR1 LE を 1 台だけ紐づけます。
3. ほかの機種から乗り換えるときは、同じドアに紐づいたままの別機種を先に外します。外さないと「createLockPin」がエラーになります。
4. 番号を指定していたシステムは、10 桁の番号が返ることを前提に、画面表示・通知文・入力チェックを直してください。

APPENDIX — FAQ

よくある質問

このガイドの内容に関わるご質問です。すべての質問は Web 版（keyvox.co/manuals/faq）に掲載しています。

導入の前に

Q オンライン QR コードとオフライン QR コードは何が違いますか？

オンラインはクラウドから QR1 に配信するカギ、オフラインは QR1 と通信せずに計算で作るカギです。どちらも解錠の瞬間にインターネットは要りません。利用回数（1 回限りなど）では制限できず、利用できる時間で制御します。オフラインは QR1 の時計が合っている必要があり、発行後に取り消せないため、ご利用の直前にお渡しするなどの工夫をしてください。

	オンライン QR コード	オフライン QR コード
しくみ	クラウドから本体へ配信	計算で生成（本体と通信しない）
作成時のインターネット	配信に必要	原則不要
使えるようになるまで	数分	すぐ
作れる数	1 台あたり 1,000 個まで	制限なし
時間の変更・キャンセル	できる	できない
無期限のカギ	作れる	作れない

SUPPORT

手順でわからないことは、
サポートまでご連絡ください。

取り付け後の確認のご依頼や、機器の動作でお困りのときも、サポートポータルからお問い合わせいただけます。

サポートポータル

お問い合わせ・取り付け確認のご依頼

support.keyvox.co

Web 版マニュアル

最新の手順・PDF のダウンロード

keyvox.co/manuals

・本書の内容は改訂日時点のものです。製品の改良により、仕様・画面・手順は予告なく変わることがあります。
・本書の図はイラストです。実際の製品と細部が異なる場合があります。
・記載の会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

keyvox
ブロックチェーンロック株式会社

KV-A08　REV. 2026.10.29
© 2026 ブロックチェーンロック株式会社